

## 今後の学童クラブ待機児童対策について

平成31年4月1日現在で15名以上の待機児童が発生した8所の学童クラブのうち、区立施設再編整備計画に基づく対策が計画化されていない5所について、今後も同様に待機児童の発生が予測されるため、以下のとおり、新たな対策を講じ、待機児童の解消を図ります。

また、その他の待機児童の発生が見込まれる学童クラブについては、本年度に試行実施した、学校の長期休業期間における児童館開館時間前の居場所事業（おはようタイム事業）の実施状況等を踏まえ、令和2年度から本事業を本格実施することにより、当面の対応を図ることとしたので、以上について報告します。

### 1 新たな待機児童対策

#### (1) 基本的な考え方

- 将来の児童館再編整備を見据え、小学校内を基本として、新たに第二学童クラブを整備する。
- 第二学童クラブの定員は、令和3年度以降の需要予測を踏まえ、中期的に待機児童の解消が見込める規模とする。
- 第二学童クラブの運営は、公募型プロポーザル方式により選定した民間事業者へ委託する。ただし、現に民間委託している学童クラブは、当該委託事業者へ第二学童クラブの運営を一体的に委託する。

#### (2) 待機児童対策の概要

学童クラブ名	最大受入数	31年4月の待機児童数	整備概要	開設予定時期	開設後の最大受入数
荻窪	130名	16名	西田小学校の施設内を改修して整備（約100名規模）	令和3年4月	約230名
高円寺東	83名	16名	杉並第三小学校の施設内を改修して整備（約80名規模）	令和3年4月	約160名
本天沼	89名	20名	杏掛小学校の施設内を改修して整備（約65名規模）	令和3年4月	約155名
桃井	104名	19名	桃井第一小学校の敷地内に別棟を整備（約95名規模）	令和4年4月	約200名
和泉学園	165名	16名	子ども・子育てプラザ和泉の敷地内に別棟を整備※（約60名規模）	令和4年4月	約225名

※現在の和泉第二災害備蓄倉庫の備蓄品を移設・整理（帰宅困難者対策に必要な物品は、その拠点となる永福和泉地域区民センター内を改修して対応するなど）の上、同倉庫を解体して整備する。

### 2 おはようタイム事業の本格実施

#### (1) 基本的な考え方

おはようタイム事業については、本年度に成田児童館・本天沼児童館・堀ノ内南児童館の3児童館で試行実施を行っており、夏季休業期間中においては約65%の対象児童から利用申し込みがあり、当面の待機児童対策として一定の効果があつた。

こうした実績等を踏まえ、令和2年度以降、毎年4月1日時点における各学童クラブの待機児童のうち、利用を希望する児童を対象として、当該学童クラブのある児童館で本事業を実施する。

なお、和泉学園学童クラブについては、第二学童クラブの開設までの期間、杉並和泉学園の放課後等居場所事業において、本事業と同様に午前8時から継続して実施することで、待機児童への対応を図るものとする。

## (2) 事業の概要

区 分	事 業 概 要
実施日時	学校の長期休業期間内（夏季・冬季・春季）の平日における午前8時から10時
実施場所	児童館内の集会室等（1室程度）
利 用 料	無料
運営方法	杉並区シルバー人材センター等への委託により必要なスタッフを配置

## 3 今後の主なスケジュール（予定）

令和2年 7月～	2所（高円寺東、本天沼）第二学童クラブの整備工事等を開始
7月下旬～	おはようタイム事業（夏季）を実施
11月～	荻窪第二学童クラブの整備工事等を開始
令和3年 4月	3所（荻窪、高円寺東、本天沼）第二学童クラブの運営開始
6月～	2所（桃井、和泉学園）第二学童クラブの整備工事等を開始
令和4年 4月	2所（桃井、和泉学園）第二学童クラブの運営開始